

2. 構造

2.1. 「構造」ということ

2.2. 修飾という関係

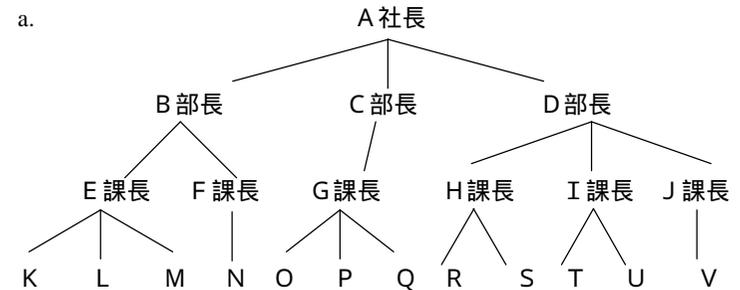
- (1) リボンをつけた女の子が立っている。
- (2) リボンをつけた犬を抱いた女の子が立っている。
- (3) (1): 「リボンをつけた」と「女の子」の間に**修飾**という関係が成り立っている。
- (4) a. (2): 「リボンをつけた」と「犬」の間に**修飾**という関係が成り立つ。
b. (2): 「リボンをつけた」と「女の子」の間に**修飾**という関係が成り立つ。
- (5) **修飾**という関係の成り立ち方が異なっていれば、音の上で区別できなくても、「別の文」である。
- (6) a. 「リボンをつけた」と「犬」の間に**修飾**という関係が成り立っている「リボンをつけた犬を抱いた女の子が立っている。」
b. 「リボンをつけた」と「女の子」の間に**修飾**という関係が成り立っている「リボンをつけた犬を抱いた女の子が立っている。」
- (7) 「リボンをつけた犬を抱いた女の子が立っている。」という文は **ambiguous** である。
- (8) かわいい女の子が立っている。
- (9) かわいい犬を抱いた女の子が立っている。
- (10) (8): 「かわいい」と「女の子」の間に**修飾**という関係が成り立っている。
- (11) a. (9): 「かわいい」と「犬」の間に**修飾**という関係が成り立っている。
b. (9): 「かわいい」と「女の子」の間に**修飾**という関係が成り立っている。
- (12) **修飾**という関係は、隣接していない単語間でも成り立つ。
- (13) かわいいリボンをつけた犬を抱いた女の子が立っている。
- (14) a. 「かわいい」と「リボン」の間に**修飾**という関係が成り立っている。
「リボンをつけた」と「犬」の間に...
「犬を抱いた」と「女の子」...
b. 「かわいい」と「犬」...
「リボンをつけた」と「犬」...
「犬を抱いた」と「女の子」...
c. 「かわいい」と「女の子」...
「リボンをつけた」と「犬」...

- d. 「かわいい」と「リボン」...
「リボンをつけた」と「女の子」...
「犬を抱いた」と「女の子」...
- e. 「かわいい」と「犬」...
「リボンをつけた」と「女の子」...
「犬を抱いた」と「女の子」...
- f. 「かわいい」と「女の子」...
「リボンをつけた」と「女の子」...
「犬を抱いた」と「女の子」...

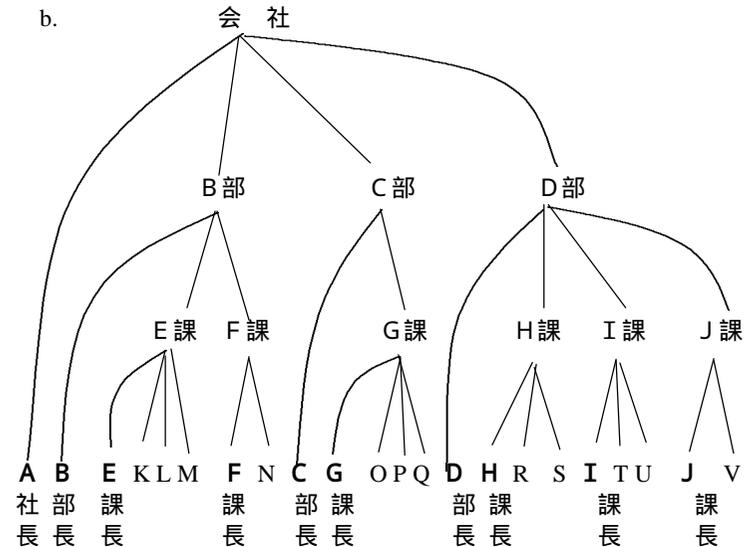
(15) (13)の文で(14e)の解釈をすることは不可能である。

2.3. 樹形図

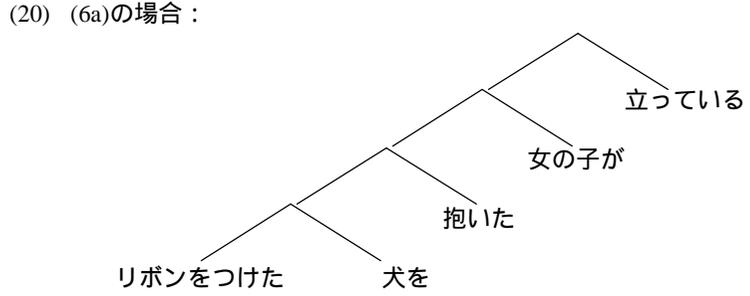
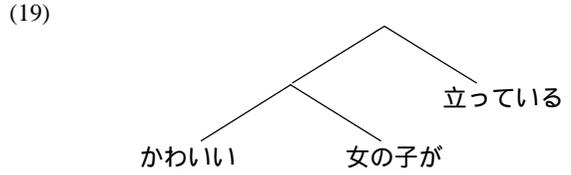
(16) a.



b.

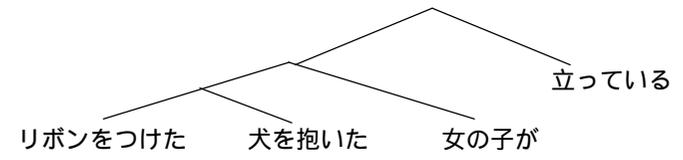


- (17) a. **節点 (node)** : 樹形図上での節目になっている部分すべて
 b. **X は Y の sister である** : X と Y が同じ節点に直接つながっていること。
- (18) X が Y を修飾している場合、X が Y の sister になっていなければならない。



- (21) (6b)の場合 :
- a.
-
- b.
-
- c.
-

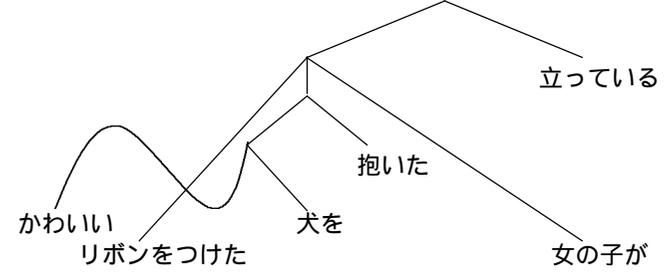
(22)



[小テスト]

ここでの書き方にしたがって、それぞれ(14a,b,c,d,f)の場合の(13)の樹形図を書いてみなさい。

(23)



(24) 樹形図の線は交わってしまってもいけない。

[宿題]

(24)を仮定するという事は、(23)の場合に限らず、一般的にこの制約が成り立つと主張するということである。最低3つの例文をあげて、その主張を裏付けなさい。もしくは、この主張の反例と思われるものが見つかれば、その例文をあげて反論しても構いません。